

三月三十日 夕刊



定価一紙五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭  
電話 五五五 五五七 五五九  
印刷所 常磐毎日新聞社  
社址 常磐毎日新聞社

### 新入児童の取扱方

千葉右近

#### 〔一〕

四月近くになると、學齡児童をもつ家庭は子供を中心に入學の日を待ちあぐんでゐる。

「學校に上る」「學校の生徒になる」それは三つ四つの頃から子供にとつて長い間の憧であつた。

今迄の學校ごつこが愈々本物の學校生活に實現されるのだからその喜びは無理もないことである。だから入學する子を持つ家庭はたゞ漫然と子供の喜びの喜こんたり、子供を學校任せにし手の省けるのを喜んでゐる前に入學前後の家庭に於ける教育に就いて深甚なる考慮をなさなくてはならない。

殊にはじめて入學させる子供をもつ家庭では尙更のことである。何事も最初の計畫と準備とは其の關係影響する所、頗る重大であることを忘れてはならない。

先づはじめに家庭教育と學校教育の差別乃至はそれ等の使命に就いて一考する必要がある。この兩者につ

いて明確なる認識をもつことはやがて學校家庭の連絡と協同とを深め行く事が出来る。

#### （一） 家庭の長所

家庭は兒童教育の自然の場所である。家庭生活は實に人間の苗床とも云ふべき所である。この苗床は兒童教育上一種の特色を有つてゐる。先づその長所を擧げると

#### 1 親子兄弟の愛情濃やかなこと。

この愛情は最も自然的のものであり且つ最も深く温く兒童を抱擁するものであるから、兒童人格の萌芽がこの愛情の裡に成長發展されるのは勿論である。

#### 2 「子を知るもの親に如くはなし」で父母は其の子の心身の状態を最もよく理解し得るものである。

#### 3 家庭の秩序はやがて兒童の入るべき社會生活の基礎を造る。家庭には父母

- 朝 味噌汁 里芋入り 小付 蛤時雨煮
- 晝 煮る御飯 豚ひき肉 玉葱みじん切り
- 晩 あんかけ 豆腐 茶めし御飯 煮込おでん

あり兄弟姉妹あり又祖父母もあつて家庭を中心として親和の中に生活し従順、信頼、秩序、共同等の諸徳を養ひ共同社會、團體生活の基礎を爲すものである。

#### （二） 家庭の短所

家庭は以上の如き特徴を有するが同時に又次の如き短所がある。

#### 1 親子兄弟の愛情にやゝもすれば溺れて我まゝに流れて剛健敢爲の氣風を養ひ難い。

2 家族の範圍が狭い爲め公共的精神を養ふに不充分である。

#### （三） 學校教育の長所

家庭から學校への生活は實に兒童にとつて過渡上の大變化である。即ち温情に満ちた父母の膝下を離れて規律整然たる學校に入るのに幼苗が苗床から移されて田畑に植ゑられる如きものである。

學校生活は家庭に比べると種々の点に於て著しい相違がある。今の學校生活の家庭生活に得られない長所を擧ぐれば

### 生徒募集

常磐私學の最高權威  
内容設備の躍進向上  
三千餘名の卒業生の社會的活躍  
燦たる二十有餘年の歴史的貢献

磐城佑賢學舎  
電 九 三 番

- 中堅國民は佑賢 中等科より
  - 受験難突破は佑賢 専修科より
  - 新學年より舎長令息
- 東京帝大 大和田忠良氏 就任  
法學士

春は歌へ！ 若人よ！

ハーモニカと呼べば！  
ミヤタと答へ！

廣い野原に  
寝そべつて

小鳥と一所に  
歌ひませう

ミヤバンドハーモニカ特約店  
いづみや玩具店  
平 驛 前

#### 三十一回生徒募集

### 躍進日本の女性に！！

婦人の職業として、家庭の衛生學として  
産婆看護婦を御奨め致します  
それには成績の最もよいと定評のある

平南町 産婆看護婦學校へ  
申込み成るべく早く  
新學期の開始は四月八日より

### 平産婆看護婦學校

校長 清野キヨ  
（電話三〇七番）

### 雛人形陳列

桃の節句が近づきました  
可愛い雛さん方のお祝には  
フクダヤの雛人形

本年の特製品、セツト物  
古代人形、童謡人形等々  
あらゆる種類を集めました  
ぜひ御一覽下さい

- 一人物箱入 三十錢 ヨリ
  - 二人物箱入 六十錢 ヨリ
  - 御殿付内裡 壹 圓 ヨリ
  - セツト物 百 圓 迄
- 其他いくらのでも揃つて居ます

### フクダヤ祝品部

平 二 丁 目

### 生徒募集

- （一）本科 五十名
- （二）裁縫専修科 百名
- （三）専攻科 三十名
- （四）師範科 二十名
- （五）本科裁縫専修科第二學年補欠若干名

文部大臣 認可 藤田女學校

- 一、願書受付 三月三十日まで
- 二、詳細ハ學則請求ノコト

平町田町（電話三二八）

### 開院

### 外科一般特ニ内臓外科

皮微科 肛門病科

### 北川外科

### レントゲン科 物療法科

平町新川町（諸橋醫院跡）  
醫學博士 北川 芳夫  
醫學士 奥 義 弘  
イツデモ入院出來マス 電話四六四番

### 鑛産税分配問題

#### 協定容易に纏まる?

十四日平町で関係町村協議  
税務監督局の岩澤技師が出席する

鑛産税分配問題に就いては昨年來關係町村の比例等差の利宅の一致を見ず數次の會合も結局何等纏まるところなく今日に至つてゐたが明十四日平町に關係町村が協定會を開くことになつたが最近各町村間に幾分の歩みよりあるものゝ如く協定成立を豫想されて居り或は協議成立とまでの決定は見づにしてもそれに近い結果まで行くものと見られる

平稅務署管内 平稅務署  
清酒品評會 務署  
管内の清酒品評會は本月廿三日から三日間同署會議室に開催審査委員として仙臺

### 平遞信診療所

#### 愈々開設す

舊加澤醫院跡に

既報平郵便局管内各局員並に家族二千名の施療機關となる平遞信診療所は昨年未より平町南町元加澤醫院跡に設置すべく準備中であつたが今回一切の設備が終つたので來る廿六日愈々開所する事になつたが同診療所には醫師一名看護婦一名事務員小使各一名が専任されて最新の設備を有して居る

### 和田檢事長 事務視察

十五日より三日間

宮城控訴院和田檢事長、福島地方裁判所後藤檢事正は事務視察のため來る十五日仙臺發四倉一泊の上十六日平檢事局視察湯本一泊白河方面へ向ふ筈

### 小川江護岸 工事進捗

本月中に完成

小川江第三期第一年度工事の平窪村大字上平窪より同村中鹽に至る一里半の護岸工事は工費三萬千六百圓で去る二月上旬着工、工事中

であるが本月廿五日頃竣功の見込である

### 役員重任決定

#### 産組總會

優良事務員を表彰  
石城産業組合部會は昨十二日マルトモホールで總會を開き縣下大會開催資金の各組合割當額を決定、役員改

### 新稅の申告に關し

#### 今夜講演會開催

平町マルトモホールで

平町商工會は國稅並に十一年度より新たに賦課されることになつた縣稅中の蓄音器、オルガン、ピアノ、備人稅等の申告に就いて一般人の智識を廣くするため本十三日午後七時から平町マルトモホールに

### 師範一部の 難關突破

本部より四名合格

福島女子師範學校本科第一部入學試験合格者は今十三日發表されたが郡内より左記四名が難關を突破し合格した、因に平町廣邊昌子さんは目下平第二小學校高等二年在學中で首位を占めてる秀才である

### 神谷國婦結成

#### 資金造成に

近頃映畫會を開催  
神谷村では同村在郷軍人分會が縣支部の指令に基づき今

選を行つたがいづれも再選となり終つて左記優良事務員を表彰した  
小川佐藤定信 大浦吉田 久壽 勿來石井子之松 平高橋孝一

### 観梅客車増結

平驛  
では來る十五日は第四回水戸觀梅デーに當るので各列車に十七臺の客車を増結する

### 埋立計畫

補助申請に出縣

江名濱町では同町大字中之作に工費二萬五千圓を投じて三千二百坪の船揚場新設をなすことになり之が農林

### 江名船揚場

遠足は明十四日行はれる筈であつたが雨天惡路のため再び十六日に延期となつた

### 友

マルトモ店 柴田書店  
電話(二三四)番

### 中等教科書 國定教科書

各種辭書 各種辭類 各種辭類 豐富に取揃へました

省補助申請に十二日河野町長、小野縣議、加澤漁業組合長、町議吉田權右衛門氏等が陳情に出縣した

### 平町 人事

#### 回死 亡

△紺屋町四八當時茨城縣多賀郡助川町大字助川二六七六根本宗範氏(七三)  
△新川町三三吉田ソノさん(七七)  
△新川町二渡邊靜之氏(一九)

### 平職業紹介所報告

人を求める方

△雜役 廿才前後 尋卒 給料面談  
△コック見習 廿才迄 尋卒 月給五圓  
△漁夫 五十才迄 月給卅

人を求める方

△農夫 廿五才迄 給八圓  
△回職をを求める方  
△電工 廿三才 高卒  
△自動車助手 廿才 高卒  
△小守 十一才 尋修  
△洋服裁縫 卅六才 尋卒

おでんと やきとりで  
お氣輕に 一平  
五日 開店 一平

出前迅速

谷口通 電話二六三番

第一學年 臺百名 出願期日 四月四日まで  
第二學年 若干名 新學期 四月四日より  
受驗科生 若干名

### 生徒募集

平町城山 磐城青年學校  
學費低廉、獎學金の給與、基礎益々鞏固、内容年と共に充實、鐵道其他受驗講座特設

### 有給社員募集

一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス  
一、固定給ノ外歩合アリ  
一、資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス  
一、但シ誠意奮闘家ヲ望ム 希望者ハ午前中當出張所へ面談アラレタシ

野村生命保險株式會社  
磐城 張所 平町長橋町四七  
主任 福島 健之

### 観櫻客吸引対策に

## 各驛に立看板揭示

『花の平』紹介に當局大重  
出版協會も宣傳雜誌發行

愈々櫻花時期の切迫した平町では松ヶ岡公園の櫻花を広く宣傳することになり櫻花に銅像及び縣社子鐵倉神社の祭禮風景を配した立看板を平野並に常磐線各驛に掲示すること決定、目下町内當業者に見積をさせているが十六日土木委員會を開いて料理屋組合、藝妓屋組合、平消防組の幹部連を町役場に招集し松ヶ岡公園電飾、餘興、演藝その他の歌

## 夏の常

### 磐中温室

#### 東北一に拍車

#### 全国一へ躍進

#### 芝崎教諭が設計中

磐城中學校では生徒の情操教育のため過般來園藝科を正課として取入れ、二年生は花壇、三年以上は鉢物栽培を行はせ芝崎教諭指導の下に頗る好成績を収めてゐる、尙昨秋創立四十周年記念に校庭の一角に新設した温室にはこれら生徒の丹精になる季節外れの珍らしい二千餘鉢の草花が一齊に咲き亂れ恰も常夏の國を思はせてゐるが同校では更に

現在の温室に監角に間口九尺、奥行六間の温室を増設すべく目下芝崎教諭が設計中である、因に現在の温室は同窓會、父兄職員の寄附により總工費八百圓を投じたもので建坪十二坪、木材は全部檜を使用し外氣を完全に絶絶し日中七十四度の平均温度を保ち現在でも東北一を誇り更に擴張工事完成後は中學校の温室では全国一となる筈である

### 公會堂建設の

#### 敷地決定が

廿六日委員會

平町公會堂調査研究委員會は廿六日町會議室で開き去る十日の委員會で決定にまで至らなかつた敷地問題の協議をなすことになつたか大體委員會で最後の決定を見本月中に町會を招集、追加更更生豫算として計上される見込である

## 盗んでは入質して

### 次々に登樓窃取

#### 不敵・料亭専門の賊逮捕

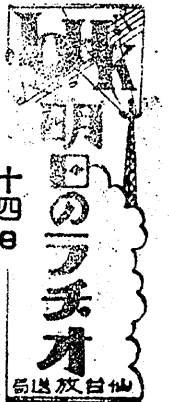
十二日夜十一時頃小名濱町字横町地内を大風呂敷を背負つて徘徊中の同町中町居住久之濱町生れ無職小林喜八(三)を舉動不審で本署連行取調べた處、十一日夜十時頃同町横町料理業福壽亭こと櫛川トメ方に登樓、酌婦の夜類敷点(價格卅圓)を窃取逃走したこと自白したが他に同町並に平町方面で料理店専門に窃盜を働か入質して遊興に費消してゐ

## 江名沖漂流中

### 漁船救はる

#### 小名濱に無事電航

去る十日午後八時半頃江名沖合五連の地点を航海中の茨城縣久慈濱山形勘次郎外九名が乗組んだ漁船が機関に故障を生じ激浪に揉まれ



報 氣 天  
今晩は晴明日も同様

報 番組豫告  
明日の部  
前七、〇一 獨逸語講座  
武内大造  
前七、三〇 朝の修養「日蓮上人の生涯」清水龍山  
前九、〇〇 衛生メモ  
前一〇、三〇 家庭講座  
「お米の新しい利用に就いて」柴和喜夫  
後〇、〇五 輕音楽「木琴ハーモニカ」マンドリンギター」小森宗太郎他  
後二、〇〇 婦人講座「時

代の要求と女子」安藤謙助  
後六、〇〇 子供日本史「日本武尊」植村芳男  
後六、二五 講演「國民の融和に就いて」半井清  
後七、三〇 浪花節「兒島高德」京山小園  
後八、一〇 舞臺劇「假名手本忠臣蔵」七段目(祐園一力茶屋の場)(東京歌舞伎座より)  
後九、〇〇 時事解説「獨のロカラム條約廢棄宣言をめぐりて」芦田均

### 郡下漁組で

#### 講習及協議會

十三日より平町で郡下漁業組合講習會並に協議會は十三日より三日間縣主催で平町團體事務所が開催、竹内水産課長、農林省庄司屬臨席して帳簿の整理に就いて講習並に組合設定を協議する

### 嫁を追出し

#### 事件解決

大金は無事あいた女に(昨報)湯本町雜貨商松川鶴

### 收得の禮金を

#### 殉職者に寄附

足下に大金轉がる  
平町南町活版業鈴木禎亮さんは昨十二日夜聚樂館に浪  
神谷校同窓會 神谷小學校同窓會は廿一日午前十時から同校に開き平町長橋町性源寺住職宗戸正勝氏の講演ある筈

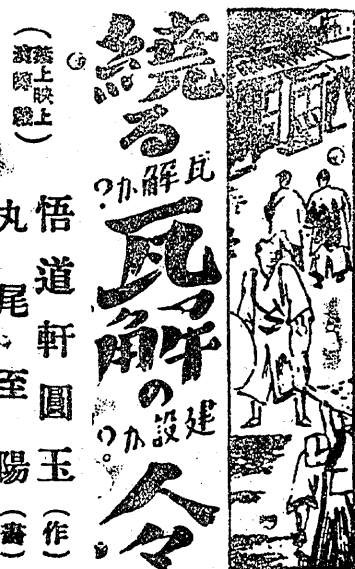
## 通學服

### 新學期

新學期が近づきました。可愛らしい坊ちゃん 嬢ちゃんの通學服を豊富に取揃へて特價奉仕

- 倉 小 黒 1.20
- 倉 (特製) 2.30
- 金 紺 3.60
- 紺 K O 型 4.00
- 第二・第三制服 3.60
- 紺 セーラー 2.60
- 防水マント 1.20
- 〃 (裕) 1.65

ふかや洋服店 電203 平三



瓦解の謎 (上巻) 悟道軒圓玉(作) 尾至陽(書)

七十一 内密の遊び  
海老屋の若い衆徳藏は松の手を取つて  
徳「まあ松兄、静かにして  
ください、お鷹匠様にこの  
事が知れますと私共が迷惑  
をいたしますよ、どうぞ今  
晩はお歸りなすつてまた明  
晩お出で下さいませし」  
松「厭なことをいふない、  
今夜吉原の櫻を見に行つて  
わざ／＼一田甫越して遊び  
に来たんだ」  
徳「左様でもございませう  
が、何んだえ、かねさん」  
と徳藏はうしろを振り向  
いたがそこへ出て来たは娼  
妓の取りしまりをする吉原  
ではやりて、宿場では小母  
さんといふ、五十を越えて  
酒のためにブク／＼肥えた  
體を重さうにそこへ運んで  
来て  
かね「徳どん、松さんと孫  
さんならば上げて宜いよ  
お鷹匠に知れないやうに下  
の座敷で深ねこで遊んでく  
ださればそれで宜いぢやア  
ないかねえ、松さんさうで  
ございませう」  
これを聞いて松の機嫌も  
なほつた  
松「年は老るものだなあ、  
爺老りのいふことには無理

はねえ、内密で遊んでみれ  
ば二階のお鷹匠には知れな  
からう、では今夜はあつさ  
り遊んで烏カアで引き揚げ  
ることにするぜ」  
かね「何卒お入りください  
う、といつて厚いと野暮に

ちやあるめえし、時をきつ  
て空に現れるやうなことは  
ねえ、とところでかねさん  
今日は變つた客をつれて來  
たんだ、お花さん此方へお  
入り」  
花「何だかきまりが悪いわ  
ねえ」  
と云ひながらそれへ入つ  
て来たおかねが見るとあ  
だめて粹な女、藍の小辨  
慶縮緬の袖に黒朱子と  
八反の晝夜帯、髪はつぶし  
の烏田にべつかう利休型の  
櫛、これも薄いと物ほしさ  
う、といつて厚いと野暮に



はねえ、内密で遊んでみれ  
ば二階のお鷹匠には知れな  
からう、では今夜はあつさ  
り遊んで烏カアで引き揚げ  
ることにするぜ」  
かね「何卒お入りください  
う、といつて厚いと野暮に

はお花を見てびつくりして  
かね「これは入らつしやい  
まし、まあよくお出でにな  
りました事」  
花「今晩は二人につれられ  
てお女郎買ひに來たの、わ  
たしにはおとなしい妓を出  
してください」  
かね「ハイ、畏まりました  
た、さあどうぞこちらへ」  
と下座敷の六疊に通した  
そこへ松の相方の小房に本  
多孫三郎の相方のお玉など  
が來た、お花にはお久とい  
女が相手に出た、これから  
酒肴が運ばれる、いつもな  
らば藝妓をあげて遊ぶが今  
夜は内々の遊びとて大きな  
聲で笑ふことも出來ない  
松「お鷹匠にも女が出てあ  
るのか」  
房「出ておますとも、おつ  
まさんにおおめさんが出て  
るんですよ」  
松「贅澤な奴だなのう孫さ  
ん、お鷹匠は人が悪いの」  
孫「フーム、旅籠屋をする  
と氣に入つた女がねえ、

そこで遊女屋に泊る、ここ  
に泊れば是非相手に女を  
出す、それにこゝに泊れば  
とて一文も宿料は拂ふまい  
その上おたかにさわるとい  
つて他の客をあげるやうに  
する、虎の威を借る狐とい  
ふことは聞いたが、たかの  
威を借る人間は珍らしい、  
もつとも泊めることは出來  
ねえとこゝで断ると千住の  
名主や宿役人が迷惑をする  
からな」  
松「へえ、何んでめい惑す  
るね」  
孫「おたかを据えながら畑  
を踏み荒し、また名主の庭  
を踏みおろす、これでは百姓  
が困るからそこで殿様殿様  
といつて大事にしてこんな  
所へ泊めて一晩遊ばせるの  
よ」  
松「悪い奴だなあ、卑しい  
心の奴だ」  
と松はこれを憎んだがこ  
れがためにとんだ騒動が起  
ります。

スガノヤの...

三月 ヒナ人形 陳列賣出し

本年新型人形  
オボコ人形  
變りヒナ  
小道具類一式  
十五人揃セット

各種豊富に陳列致しました  
是非御來店の程お待ちしております

スガノヤ提灯店

平町四丁目 電話九五番

魚清のサービス	
たらちりなべ	三
ちりなべ	三
あなごなべ	三
よせなべ	三
かきなべ	三
煮込なべ	三
鳥なべ	三
牛なべ	三
豚なべ	三
かきフライ	二
かき酢の物	二
あんこも酢	二
定食	十
四品	五十
五品	八十

魚清食堂

平二番客界通り  
電話六三三

産婆看護婦 募集

願書締切 四月五日迄  
平町一丁目

石城産婆看護婦学校  
電話三五七番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番  
醫學士 吉田久雄